

だん じょ きょう どう さん かく
男女共同参画だより

～ 地域でひろがる笑顔の輪 ～



「男女共同参画」とは、地域の一人一人がお互いを尊重し合い、笑顔で過ごせる社会を目指すもので、ごく身近にあるものです。「男女共同参画だより」は、それぞれの地域で男女共同参画に携わるお仕事・活動をしている方々や、県から委嘱を受けた地域推進員の活動を紹介しています。

多世代交流施設「おひさまテラス」

旭市（伊藤 浩子・小橋 静枝）

「子育てを通して、まちの人々がつながり、支えあい、共に育む場」をコンセプトに、今年4月に旭市にオープン。子どもの遊び場スペースや読書・仕事・趣味のフロア、レストラン等が配置されています。

20名ほどがスタッフとして勤務し、市にお住まいのメンバーが多く協力し活動しておられます。世代別に見ても、まんべんなく利用されていて男女比率も半々と、バランスの取れた利用状況だそうです。

取材実施日は、十数名の方が思い思いに読書をしたり、リラックスしたりしている姿が見受けられました。ゆったりと過ごし、自然と空間の中に色々な世代が集まることができ、利用される方々にとって心地のよい場所である事を目指しているそうです。

また、統括マネージャーの永井氏からは、「今後も様々な活動を計画しているが、アイデアを駆使し未来へつながるようなプロジェクトを」と次々と創造を膨らませているそうで、「大人が輝いていると市全体に広がり将来も明るい。地域の皆さんの活動を支援していき、一つ一つ積み上げ形にしていくことで発展させていきたい」と、今後の抱負を熱く語ってくださいました。



「おひさまテラス」と永井統括マネージャー

一人ひとりの自立に向けて

横芝光町（伊藤 清美・石川 真由美）

ガラス張りのスタイリッシュな建物の中で、「社会福祉法人心結会 まんまる」の施設長として子ども達と生き生きと活躍している大木 多香子さんから話を伺いました。



大木 多香子さん

子ども一人ひとりに合った支援方法を、親や専門職とともに探りながら、心身の発達を促しています。ある時は、素敵なピアノ伴奏に合わせた歌声が響き、またある時は、プールの中で元気にはしゃぐ子どもの声が響いています。そして、合間に元気な保育士さんの楽しそうな笑い声がします。

大木さんは、個性豊かな子ども達と明るい職員を温かい目で見守り続けています。「関わっている子ども達が、人から求められる存在になって、地域で自立できるようになってほしい。そのために、今後は働ける環境も整えて

きたい」と、これからの抱負を語ってくださいました。

大木さんの笑顔と芯の強い眼差しから、近い将来、夢が現実になってくるのではないかと期待し、利他の精神で行動している大木さんは、キラキラと輝いている様に感じました。

子どもの笑顔が私の生きがい

銚子市（岩瀬 賢氏・山本 政美・金尾 記子）

今年は、銚子市第三保育所を訪問し、市内の公立保育所で唯一の男性保育士である、柳澤 将太さんを取材しました。

柳澤さんは、学生時代に子どもに携わるボランティア活動に参加した際、子ども達と関わるのは楽しい、やりがいがあると感じ、保育士を目指しました。

ダンス（お遊戯）が得意な柳澤さんは、民間の男性保育士とコンビ「おさかなきゃべつ」を組み、地域のイベントでボランティアとして子ども達を楽しませています。コロナ禍のため最近出番がないのが残念です。

また、プライベートでは2児の父。自分の子どもの育児には腕を振るい、子どもと過ごす時間を大切にしています。

保育所では、主に3歳～5歳児クラスを担当し、保育士で良かったと思うことは、「子どもたちができなかったことができるようになったとき。自分もうれしいし、保護者もうれしい。先生や保育所のおかげだと感謝していただけることもうれしい」と話されました。

これから入ってくる男性保育士さんへ伝えたいことは、「笑顔で人に接すること」「自分自身も楽しむこと」と答える柳澤さんの優しい笑顔が印象的でした。



柳澤 将太さん

「通いの場」づくり～地域に笑顔と繋がりを～

東金市（石川 安子・古川 煌子）

今回は、地域の「通いの場」づくりに取り組んでいる、錦見 康江さんにお話を伺いました。

この通いの場は、地域の女子会「榎の会」が中心となり、令和2年11月にスタートしました。



錦見 康江さん：前左から4番目

毎週水曜日に下武射田地区の公民館で、1時間ほど東金市ロコモ体操を実施しています。月2回は運動指導などの資格をお持ちの方が、残る2回は錦見さんがリーダーとして指導をされ、現在は毎回20名程度の参加があるそうです。

体操はテンポよく進み、時にはジョークあり笑いあり。「1、2、3」と声かけも元気いっぱいでした。

「せっかく縁あってこの地域に来たのに、全然顔を合わせないというのではもったいない。何かみんなが一緒にできることはないかと思って」と話して下さった錦見さん。この通いの場は、健康を維持する場であるとともに、大切な交流の場となっています。参加者の方は「地域の女の人が元気になり、家庭が明るくなり、地域に笑顔の輪が広がるのが一番です」と話されました。

この通いの場から、地域や社会が少しずつ変わっていくかもしれません。通いの場には、今日も元気いっぴいの笑顔の花が咲いていることでしょう。

千葉県男女共同参画地域推進員とは

男女共同参画社会づくりを進めていくためには、県民一人ひとりの意識を高めることが必要です。

そのため、千葉県では「千葉県男女共同参画地域推進員」を知事が委嘱し、地域推進員は県内6つの地域に分かれて活動しています。

地域推進員は、地域と市町村・県とのパイプ役となり、各地域の特性を踏まえて、講座・講演会の開催や広報誌などの事業を通じ、地域での男女共同参画の意識の普及・啓発をしています。